

1. 授業のねらい・概要

少子高齢化の進行していくなか、我が国の年金制度に対する不安は高まっている。今後予想される人口動態を考えると、年金制度を支える現役世代が減り年金受給者が増加する状況は避けられず、年金制度の将来的な持続可能性に疑問が生じることが不安発生の主因である。加えて、年金制度が多様で複雑であることも、年金制度に対する不安を助長させている面も否めない。

こうした事情を踏まえて、この授業では日本の年金制度の概要をできる限りわかりやすく説明して、年金制度の問題や課題について、受講学生が正確に把握できるようにしていくことを目指す。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら、日本の年金制度の基本的なしくみや年金制度をめぐる最近の諸課題について説明する。

なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. 年金制度のあらまし（１） （年金制度の概要と問題点）	8. 年金運用のしくみ（２） （GPIFの運用）
2. 年金制度のあらまし（２） （公的年金制度・企業年金制度のあゆみ）	9. 年金制度の改革（１） （在職老齢年金の見直し）
3. 年金制度のしくみ（１） （年金数理・財政のしくみ）	10. 年金制度の改革（２） （社会保障・税一体改革）
4. 年金制度のしくみ（２） （国民年金・厚生年金・共済年金のしくみ）	11. 年金制度の改革（３） （公的年金の一元化）
5. 年金制度のしくみ（３） （企業年金のしくみ）	12. 年金制度の改革（４） （企業年金改革）
6. 年金制度のしくみ（４） （年金税制のしくみ）	13. 年金制度の課題（１） （公的年金の将来像）
7. 年金運用のしくみ（１） （年金運用の概要）	14. 年金制度の課題（２） （年金基金によるコーポレートガバナンス）
	15. まとめと復習

4. 到達目標

日本の年金制度の基本的なしくみを知り、年金制度が抱えている問題点と課題を理解することを到達目標とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を必ず復習して、疑問点などを明確にしておくことが望ましい。

6. 成績評価の方法・基準

①授業への取り組み姿勢（評価に占める割合：30%）、②課題等に対する内容（評価に占める割合：20%）、③定期試験・レポートの結果（評価に占める割合：50%）によって、評価する。

7. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時まで指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

8. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。